

# 【地方創生拠点整備交付金事業効果検証シート】

※各事業について、事業概要(一部省略)、実施内容を基に国へ交付金の申請を行いました。

## 事業名: 健康スポーツ町民交流プロジェクト ～山のないまちでクライミング！～

事業概要:

- 若者に人気のある「スポーツクライミング」は、ルート設定の難易度によっては高齢者でも行うことができる、万人が気軽に親しめるスポーツであり、2020東京オリンピックの追加競技として決定されたことにより、競技人口の増加が見込まれる将来性のある競技である。また、手足の筋力はもちろん、メタボリックシンドロームに影響するインナーマッスルの強化に効果的であると言われており、その他バランス感覚やクライミングルートの設定など脳への刺激も含めて、健康増進の効果が大きいと期待できるスポーツでもある。
- そこで、当町としては、「山のないまちでクライミング！」のキャッチフレーズのもと、この「スポーツクライミング」を核として町民交流の活性化や広域交流人口の拡大による地域振興を図っていく。
- そのため、大会や各イベント等の主要会場となるスポーツクライミング施設を壬生町総合運動場体育館に整備し、併せてシャワールームや、大会時の選手控室やミーティングルーム等を整備する。
- また、町内小中学校体育館及び壬生町嘉陽が丘ふれあい広場体育館、壬生町おもちゃ博物館を地域スポーツ交流施設として位置づけて、高齢者でも気軽にできるレベルのスポーツクライミング施設を整備し、町内各地域コミュニティでの町民交流活性化や健康増進を図る。

実施内容:【壬生町総合運動場体育館】

- ・一般用スポーツクライミング施設 1箇所
- ・大会及びイベント用スポーツクライミング施設 1箇所
- ・シャワールーム施設 1箇所
- ・多目的スペース施設 1箇所

【地域スポーツ交流施設】

- ・壬生町立小中学校(全10校) 10箇所
- ・壬生町嘉陽が丘ふれあい広場 1箇所
- ・壬生町おもちゃ博物館 1箇所

※実施事業の効果検証のため下記KPIを設定しました。

| 重要業績評価指標<br>(以下、KPI) | スポーツ振興課 | 事業開始前<br>(H29.3)   | H28  | H29 | H30     | R1    | R2     | 目標値(増加分累計)<br>(R3.3) |
|----------------------|---------|--|------|-----|---------|-------|--------|----------------------|
| (壬生町総合運動場体育館)使用料収入   |         | 1,834千円  | 85千円 | 3千円 | 1,086千円 | 918千円 | -136千円 | 800千円                |
| 実績値の分析・評価            |         | ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の貸出休止期間があったことから、使用料は減額となった。                               |      |     |         |       |        |                      |
| 今後の取組み               |         | ・スポーツクライミング教室の実施、スポーツクライミング大会の開催等、スポーツクライミング普及推進事業の実施。<br>・施設の適正な維持管理による貸し出しの実施。 |      |     |         |       |        |                      |
| KPI                  | スポーツ振興課 | 事業開始前<br>(H29.3)   | H28  | H29 | H30     | R1    | R2     | 目標値(増加分累計)<br>(R3.3) |
| スポーツコミュニティ形成地域数      |         | 0地域  | 0地域  | 0地域 | 2地域     | 5地域   | 0地域    | 12地域                 |
| 実績値の分析・評価            |         | ・新型コロナウイルス感染症の学校施設等における感染防止のため、事業を実施することが出来なかった。                                 |      |     |         |       |        |                      |
| 今後の取組み               |         | ・スポーツクライミング教室の実施、スポーツクライミング大会の開催等、スポーツクライミング普及推進事業の実施。                           |      |     |         |       |        |                      |
| KPI                  | スポーツ振興課 | 事業開始前<br>(H29.3)   | H28  | H29 | H30     | R1    | R2     | 目標値(増加分累計)<br>(R3.3) |
| スポーツクライミング大会外国人入込数   |         | 0人   | 0人   | 0人  | 0人      | 0人    | 0人     | 350人                 |
| 実績値の分析・評価            |         | 新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人の入国等が制限され、大会自体も実施することが出来なかった。                              |      |     |         |       |        |                      |
| 今後の取組み               |         | ・スポーツクライミング教室の実施、スポーツクライミング大会の開催等、スポーツクライミング普及推進事業の実施。                           |      |     |         |       |        |                      |

# 【地方創生推進交付金事業効果検証シート】

※各事業について、事業概要（一部省略）、実施内容を基に国へ交付金の申請を行いました。

## 事業名: 健康スポーツ地域交流推進事業 ～山のないまちでクライミング！～

事業概要: 特に10代、20代の若い世代の滞在人口率が低い本町としては、若者に人気があり、東京オリンピックでの正式追加競技として注目度が急上昇している「スポーツクライミング」を核として、スポーツクライミング講習会や教室、大会、各イベント等を精力的に推進していくことにより、多世代による町民交流の活性化や広域交流人口の拡大による地域振興を図っていく。さらに、大会開催に当たっては、関係自治体と合同実施を行うことにより、広域交流人口の拡大を図るほか、単なるスポーツ事業に終わることなく、食・観光などまちづくり事業も絡めて複合的な魅力あるイベントとし、東京オリンピックでの外国人来訪者へのPRも含めたインバウンド効果による地域振興も図ってい

- 実施事業:
1. スポーツクライミング普及促進事業
  - (1) クライミング教室・大会等講師謝礼等 122千円
  - (2) 教室・競技会等消耗品 100千円
  - (3) 教室・競技会等通知郵送料 42千円
  - (4) 教室・競技会等障害保険料 40千円
  - (5) クライミング普及促進用印刷製本費 95千円
  - (6) 教室等実施業務委託料 2,585千円

※実施事業の効果検証のため下記KPIを設定しました。

| 重要業績評価指標<br>(以下、KPI)            | 総合政策課  | 事業開始前<br>(H30.3) | H30     | R1    | R2     |  | 目標値(増加分累計)<br>(R3.3) |
|---------------------------------|--|------------------|---------|-------|--------|--|----------------------|
| ①健康スポーツ交流拠点施設(壬生町総合運動場体育館)使用料収入 |  | 1834千円           | 1,086千円 | 918千円 | -136千円 |  | 600千円                |
| KPI                             | 総合政策課  | 事業開始前<br>(H30.3) | H30     | R1    | R2     |  | 目標値(増加分累計)<br>(R3.3) |
| ②スポーツコミュニティ形成地域数※全12地域          |  | 0地域              | 2地域     | 5地域   | 0地域    |  | 9地域                  |
| KPI                             | 総合政策課  | 事業開始前<br>(H30.3) | H30     | R1    | R2     |  | 目標値(増加分累計)<br>(R3.3) |
| ③スポーツクライミング大会外国人入込数             |  | 0人               | 0人      | 0人    | 0人     |  | 300人                 |
| KPI                             | 総合政策課  | 事業開始前<br>(H30.3) | H30     | R1    | R2     |  | 目標値(増加分累計)<br>(R3.3) |
| ④「ワーク・スポーツ・バランス」の実践者数           |  | 0人               | 43人     | 45人   | 10人    |  | 30人                  |
| 実績値の分析・評価                       | ・新型コロナウイルス感染症の影響による施設貸出の中止、教室開催の中止等により、指標すべてにおいて目標を達成することが出来なかった。  |                  |         |       |        |  |                      |
| 今後の取組み                          | ・スポーツクライミング普及事業の推進により、引き続き、指標①②④の向上を図る。<br>・指標③については、新型コロナウイルス感染症の終息後、スポーツクライミング大会等を実施することにより、目標達成を図りたい。 |                  |         |       |        |  |                      |

# 【地方創生拠点整備交付金事業効果検証シート】

※各事業について、事業概要（一部省略）、実施内容を基に国へ交付金の申請を行いました。

## 事業名：低年齢児向け“おもちゃ博物館”リノベーション事業

### 事業概要：

本事業により、1階及び3階にクッション性のある屋内遊戯施設を整備することで、0～2歳の低年齢児が快適に怪我なく遊べる施設を目指します。また、個別型空調管理のための改修工事を実施して、体温調節機能が未発達の子どもの安全に過ごし、子育て世代の親や祖父母が安心して見守ることができる施設の実現が可能となります。これらのリノベーションにより、施設の魅力を飛躍的に高め、平日を中心に新たな利用者層の拡大、リピーターの増加を図ります。子育て世代の中でも、0～2歳の低年齢児を持つ保護者は、子どもの体調変化や動きなどに常に目を配る必要があり、特に平日は親子のみで過ごす場合が多いことから、少しリフレッシュしたいという要望も高く、屋内で安心して半日程度を過ごせる施設が求められているところであり、本事業のリノベーションでこうしたニーズに応えることで、リピーターの確保や年間パスポート(3,000円)の購入促進が期待できます。本事業の実施により、0～2歳の低年齢児と保護者が安全安心に過ごせる居場所づくりという子育て支援と、既存の観光資源の有効活用による広域的誘客の両立が可能となります。

### 実施内容：【壬生町おもちゃ博物館】

- ・0～2歳児向け遊戯室リノベーション 2箇所
- ・個別型空調管理整備 1箇所

※実施事業の効果検証のため下記KPIを設定しました。

| 重要業績評価指標<br>(以下、KPI)         | 商工観光課  | 事業開始前<br>(R1.3) | R2         | R3 | R4 | R5 | R6 | 目標値(増加分累計)<br>(R7.3) |
|------------------------------|--|-----------------|------------|----|----|----|----|----------------------|
| <b>観光客入込数</b>                |  | 3,709,996人      | 2,096,029人 |    |    |    |    | 155,000人             |
| 実績値の分析・評価                    | 新型コロナウイルスの影響により、イベントの中止、施設の休館、外出の自粛などで大幅に減少している。   |                 |            |    |    |    |    |                      |
| 今後の取組み                       | ビヨンドコロナに向けて、WEBを中心として国内外への観光案内等の強化、及び感染防止対策を前提とした集客イベントの企画等を進め、観光客入込数の回復及び増加に努める。                          |                 |            |    |    |    |    |                      |
| KPI                          | 商工観光課  | 事業開始前<br>(R1.3) | R2         | R3 | R4 | R5 | R6 | 目標値(増加分累計)<br>(R7.3) |
| <b>壬生町おもちゃ博物館入館者数</b>        |  | 242,660人        | 36,002人    |    |    |    |    | 12,000人              |
| 実績値の分析・評価                    | 新型コロナウイルスの影響により、施設の休館(～7/14、1/15～2/22)、イベントの自粛などで大幅に減少している。  |                 |            |    |    |    |    |                      |
| 今後の取組み                       | 施設長寿命化計画と感染防止対策に配慮した各種工事等を実施し、より快適に、より安心して遊べる博物館へと改修を進めるとともに、道の駅みぶ内の各種施設との連携やPR方法の改善等により、博物館利用者の回復及び増加を図る。 |                 |            |    |    |    |    |                      |
| KPI                          | 商工観光課  | 事業開始前<br>(R1.3) | R2         | R3 | R4 | R5 | R6 | 目標値(増加分累計)<br>(R7.3) |
| <b>壬生町おもちゃ博物館年間パスポート利用者数</b> |  | 1,008人          | 160人       |    |    |    |    | 800人                 |
| 実績値の分析・評価                    | 新型コロナウイルスの影響により、10月までパスポートの販売を中止していたため、大幅に減少している。  |                 |            |    |    |    |    |                      |
| 今後の取組み                       | 施設長寿命化計画と感染防止対策に配慮した各種工事等を実施し、より快適に、より安心して遊べる博物館へと改修を進めるとともに、道の駅みぶ内の各種施設との連携やPR方法の改善等により、博物館利用者の回復及び増加を図る。 |                 |            |    |    |    |    |                      |

# 【地方創生推進交付金事業効果検証シート】

※各事業について、事業概要(一部省略)、実施内容を基に国へ交付金の申請を行いました。

## 事業名: 次の未来へ「甦れ清流」ふるさと再生計画

事業概要: 本町においても少子高齢化により、人口減少に転じており、地域経済の縮小をはじめとして地域活動など様々な分野への悪影響が懸念されている。  
 特に、農村地域では、町全域の汚水処理人口普及率91.2%に比べ大幅に遅れ、現在の普及率は67パーセントであり、現在でも汲み取り式トイレ(単独処理浄化槽)を利用する住宅も多く存在し、不衛生な生活環境が移住定住の推進にあたっての支障にもなっている。  
 さらに、家庭雑排水が流入する農業用水路や中小河川等では、水質の悪化が問題化しており、未処理生活雑排水が農業用水として利用されることにより、イチゴ等の農産物の品質悪化や生産量の減少にも影響を及ぼしていることから、農業用水の水質改善を図るためにも汚水処理施設の整備が求められている。  
 人口減少に歯止めをかけ、活力あるまちを持続するために、農村地域の人口流出の抑制、移住定住の促進に向け事業展開していく。

### 1 農業集落排水事業 旭町・星の宮地区

実施事業: (1) 事業実施主体 壬生町  
 (2) 事業区域 町内旭町及び星の宮地区  
 (3) 事業期間 平成31年度～令和5年度  
 (4) 事業内容 農業集落排水のため管路の敷設及び汚水処理施設建設を行う。  
 ・管路延長 9,240m  
 ・マンホールポンプ 5箇所  
 ・処理場 1箇所

### 2 浄化槽(個人設置型)

(1) 事業実施主体 浄化槽を設置しようとする個人  
 (2) 事業区域 町内全域(町内下水道及び農業集落排水の計画外区域)  
 (3) 事業期間 平成31年度～令和5年度  
 (4) 事業内容 個人が設置する浄化槽について、設置費用の一部補助を行う。  
 ・浄化槽 150基

※実施事業の効果検証のため下記KPIを設定しました。

| 重要業績評価指標<br>(以下、KPI)  | 下水道課  | H30年度末<br>事業開始前々年度末<br>(基準年度) |        | R2年度末<br>(中間年度) | R5年度末<br>(最終目標) | (最終目標値)－<br>(基準年度値) |
|-----------------------|---|-------------------------------|--------|-----------------|-----------------|---------------------|
|                       |   | 目標値                           | 実績値    |                 |                 |                     |
| <b>汚水処理人口普及率の向上</b>   |   | 目標値                           | 91.2%  | 91.7%           | 94.6%           | 3.4%                |
|                       |   | 実績値                           |        | 91.9%           |                 |                     |
| 実績値の分析・評価             | 汚水処理人口普及率は、集合処理区域での接続や、それ以外の区域における合併浄化槽の設置による効果が表れている。  |                               |        |                 |                 |                     |
| 今後の取組み                | 引き続き最終目標値達成に向けて、集合処理区域での接続率向上や、合併浄化槽の普及を推進していく。   |                               |        |                 |                 |                     |
| KPI                   | 下水道課  | H30年度末<br>事業開始前々年度末<br>(基準年度) |        | R2年度末<br>(中間年度) | R5年度末<br>(最終目標) | (最終目標値)－<br>(基準年度値) |
|                       |   | 目標値                           | 実績値    |                 |                 |                     |
| <b>単独処理浄化槽使用人口の減少</b> |   | 目標値                           | 1,607人 | 1,517人          | 1,367人          | -240人               |
|                       |   | 実績値                           |        | 1,498人          |                 |                     |
| 実績値の分析・評価             | 単独処理浄化槽使用人口は、生活環境の改善のため、単独処理浄化槽から合併浄化槽への切り替えを推進しており、その効果が表れている。   |                               |        |                 |                 |                     |
| 今後の取組み                | 引き続き最終目標値達成に向けて合併浄化槽の普及を推進していく。   |                               |        |                 |                 |                     |
| KPI                   | 下水道課  | H30年度末<br>事業開始前々年度末<br>(基準年度) |        | R2年度末<br>(中間年度) | R5年度末<br>(最終目標) | (最終目標値)－<br>(基準年度値) |
|                       |   | 目標値                           | 実績値    |                 |                 |                     |
| <b>農家人口減少の抑制</b>      |   | 目標値                           | 3,406人 | 3,368人          | 3,324人          | -82人                |
|                       |   | 実績値                           |        | 2,695人          |                 |                     |
| 実績値の分析・評価             | 農家人口減少については、社会的背景として少子高齢化による離農等によって後継者不足の状況にあるが、現在整備中の農業集落排水設備を今後供用開始することにより、農村地域における生活環境の向上を図ることで、Uターン、Iターンを促し、他地域からの人口流入や農家人口の流出抑制が期待できる。 |                               |        |                 |                 |                     |
| 今後の取組み                | 引き続き旭町・星の宮地区の集落排水の整備を推進していくことで、水質の向上及び環境改善により農村地域の生活環境の向上を目指す。  |                               |        |                 |                 |                     |

# 【地方創生推進交付金事業効果検証シート】

※各事業について、事業概要(一部省略)、実施内容を基に国へ交付金の申請を行いました。

## 事業名: 広域公共交通で繋ぐ、地域の宝(人・観光・健康・仕事)1市2町連携プロジェクト事業

事業概要: 1市2町エリア全体の資源を最大限に活かすため、地域住民の生活交通と観光2次交通の両面から、エリアを東西につなぐ巡回路線バスシステムを構築し、併せて1市2町連携による広域周遊観光や東京圏等からの移住定住促進、域内住民の健康増進等を通じた生涯活躍のまちの形成、さらにはコンパクトなまちづくり等を連動させ、それら施策を一体的に推進することで圏域全体のまち・ひと・しごと創生の実現につなげる。

- ①JR石橋駅を拠点とした壬生町ー下野市ー上三川町間の広域公共交通としてのバス運行による交流人口の増加
- ②広域連携バスを始めとした公共交通等の活用による民間事業者と連携した1市2町の観光資源アクセス強化及び1市2町広域周遊ルートの開発、特産品のPRによる観光入込客数の増加
- ③広域連携バスを始めとした公共交通等で繋がる健康増進事業による健康寿命の向上
- ④ICT技術を活用した利用促進及び利用実績の分析により地域に密着した路線化による収支率の向上
- ⑤既存の公共交通との接続強化により自動車依存から脱却し、公共交通利用率の増加
- ⑥広域連携バスにより向上する地域の回遊性を活用した地域の魅力PRによる移住・定住者の増加

実施事業: 1. 広域的な公共交通維持システム実証事業 22,672千円

- (1) 広域連携バス実証運行业務費用 13,220千円
- (2) 広域公共交通利用促進事業費用 9,452千円

2. 1市2町エリアの回遊性の活用 4,091千円

- (1) 広域連携健康マイレージ事業 1,188千円
- (2) 1市2町PR事業 2,903千円

3. 1市2町エリアの魅力を活かした移住定住の促進 4,666千円

- (1) 移住促進のため創業支援促進 1,673千円
- (2) 1市2町移住・定住促進費用 2,993千円

※実施事業の効果検証のため下記KPIを設定しました。

| 重要業績評価指標<br>(以下、KPI)              | 総合政策課   | 事業開始前<br>(R1.3)         | R1         | R2         | R3 | 目標値        |
|-----------------------------------|---|-------------------------|------------|------------|----|------------|
| ①広域連携バス(壬生町ー下野市ー上三川町)利用者数(輸送量ベース) |   | 0人                      | 4,280人     | 4,897人     |    | 14,600人    |
| KPI                               | 総合政策課   | 事業開始前<br>(H29年1市2町の合計)  | R1         | R2         | R3 | 目標値        |
| ②1市2町観光入込数                        |   | 6,268,343人              | 5,903,388人 | 3,896,616人 |    | 6,289,943人 |
| KPI                               | 総合政策課   | 事業開始前<br>(R1.3の1市2町の合計) | R1         | R2         | R3 | 目標値        |
| ③健康マイレージ参加者数                      |   | 1,153人                  | 1,336人     | 1,181人     |    | 1,444人     |
| KPI                               | 総合政策課   | 事業開始前<br>(R1.3の1市2町の合計) | R1         | R2         | R3 | 目標値        |
| ④1市2町の東京圏からの転入者数                  |   | 870人                    | 931人       | 866人       |    | 960人       |
| 実績値の分析・評価                         | 令和元年10月より運行を開始した「ゆうがおバス」に関して、KPI①及び②については、昨年度から引き続き政府からの新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不要不急の外出自粛要請等の影響から伸び悩みがみられる結果となった。KPI③では目標値の約8割を達成し、KPI④については目標値の約9割の成果を上げる結果となった。運行開始当初は、一定数の利用者も確保できていたことから、コロナ禍の収束に伴いKPI①及び②についても回復に向かうと予想される。 |                         |            |            |    |            |
| 今後の取組み                            | 今後は、利用者が少ない運行ルートや運行ダイヤの見直しを行うことで、鉄道との乗り継ぎ、商業施設及び医療機関とのアクセス向上を図る。また、住民の生活に視点を置いた路線とすることにより、利用者の増加と本格運行への移行を目指す。  |                         |            |            |    |            |